

### 平成9年 第3回定例会

# 平成八年度 各会計決算を認定

市営住宅条例の一部を改正する条例(市営住宅に臨時駐車場を設置)・  
一般会計補正予算(補正額約一億九千万円)等を可決

平成九年第三回定例会が、九月三日から二十六日までの二十四日間の会期で行われました。

今回の定例会では十四人の議員が一般質問を行い、「平成八年度各会計決算認定について」を初めとする議案及び「駿河建設による住宅専用マンション建設に関する陳情書」等の審議が行われました。

#### 本会議の経過

第一日目(三日)は、閉会中に仲村清信氏、赤星人氏から提出された議員辞職願の許可の報告があった後、五人の議員が一般質問を行いました。

第二日目(四日)は、前日に引き続き六人の議員が一般質問を行いました。

第三日目(五日)は、前日に引き続き三人の議員が一般質問を行った後、議案の審議が行われ、うち、「福生市高齢者看護料資金貸付基金条例を廃止する条例」及び「西多摩農業共済事務組合規約の一部改正について」は可決されました。また、その他の議案と陳情は各委員会に付託されました。

第四日目(六日)は、一般会計決算認定について「は、九日(第四日目)から十一日(六日目)に本会議を開催して審議されました。

第七日目(二十六日)は、各委員会に審査を付託していた議案、陳情の審査報告が行われ、いずれも、報告のとおり可決等されました。特に、「平成八年度福生市一般会計決算認定について」等、四議案の委員長報告に対し反対、賛成

の討論が行われ、起立採決の結果、原案のとおり可決等されました。

その後、追加された「福生市教育委員会委員」の任命及び「福生市固定資産評価審査委員」の選任の同意の議案と意見書を可決等し、また、議会運営委員会及び横田基地対策特別委員会委員の欠員補充を行い、今定例会を終了しました。



秋晴れのもと運動会で元気いっぱいの児童  
(9月28日 福生第三小学校にて)

## 意見書を可決

### 関係各機関に提出

#### 私学助成拡充を 求める意見書

東京都における私学依存度は他府県と比べ大変高くなっており、学費など父母負担と教育条件の公私格差を是正する私学助成制度の充実が東京の教育の発展に欠かせない課題となっている。

東京都としても私学助成の充実に努め、私立学校の経常費補助は公立学校の教育費をもとに算出した「標準的運営費」の二分の一補助を実現さ

せてきたが、昨年、東京都が発表した「財政健全化計画案」によると、この夏までに見直しの具体的検討を進め、平成十年度の予算に反映させるとしている。

二十一世紀に向けて、生徒の減少・少子化が進行していく中で、私学助成の削減は、私学の存続そのものを危うくするものである。

よって、福生市議会は、東京都に対して次の事項について検討されるよう強く要望するものである。

一 私立学校経常経費の削減

#### 郵政事業の民営化 反対に関する意見書

政府は行政改革として官民の役割分担の一つとして郵政三事業の見直しを上げ、民営化に向けた検討に取りかかり、関連法案提出へ発展する懸念がある。

現在の郵政事業は全国二万四千余の郵便局ネットワークを通じて、郵便、貯金、保険

を行わず、標準的運営費の二分の一補助制度を堅持すること。

の三事業を公的サービスとして全国に提供して国民生活の安定向上と福祉の増進にと大きく寄与している。

定例会の日程	
8月26日	議会運営委員会
9月9日	平成8年度一般会計決算審議
9月3日	議会運営委員会
9月4日	一般会計
9月5日	一般会計
9月9日	平成8年度一般会計決算審議
8月10日	議会運営委員会
8月11日	平成8年度一般会計決算審議
8月16日	建設委員会
8月17日	厚生委員会
8月18日	総務委員会
8月24日	議会運営委員会
8月26日	委員会審査報告 議案の審議等 議会運営委員会

主な内容	
可決等された案件	2面
決算、討論	3面
一般質問	4、7面
委員会の審査、陳情	8面

## 可決等された案件 (要旨)

◆西多摩農業共済事務組合規約の一部改正について  
事務所の移転に伴い改正するもの。

◆市道路線の廃止について  
市道五号線の全部廃止と市道二五号線の一部を廃止するもの。

◆平成九年度福生市一般会計補正予算(第二号)  
一億九千七百七十四千円を追加。歳入では市民税で不動産所得、給与所得の増加見込に伴う追加、地方交付税で普通交付税の九年度の額の確定に伴う追加、八年度決算による繰越金の追加等するもの。

◆福生市教育委員会委員の任命について  
山田 豊氏

◆福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について  
森田 展州氏  
その他の議案(内容は一面及び三面を「ご覧ください」)

◆平成八年度福生市一般会計決算認定について  
平成八年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

◆平成八年度福生市老人保健医療特別会計決算認定について  
平成八年度福生市下水道事業会計決算認定について

◆多摩川排水区 H-19 その一 工事請負契約  
青梅線以西から新奥多摩街道周辺の溢水の恐れのある地域に雨水排水管を埋設し、周辺の排水対策を図るため。

◆私立助成拡充を求める意見書  
郵政事業の民営化反対に関する意見書

今定例会に提出された案件は、十七件で、いずれも原案のとおり可決等されました。案件とそその要旨は、次のとおりです。

### ◆福生市営住宅条例の一部を改正する条例

臨時駐車場の設置に伴う条例の一部改正をするもの。  
◆福生市高齢者看護料資金貸付基金条例を廃止する条例  
老人保健法の一部改正に伴う条例の廃止をするもの。

### 改選のあつた各種委員会委員一覧表(平成九年九月二十六日現在)

今定例会において、一部の委員会委員が次のように改選になりました。  
改選のあつた委員会委員は次のとおりです。

各種委員会	特別委員会		議 分 会	
	道 策 特 別 委 員 会	特 別 委 員 会	区 運 営 委 員 会	氏 名
熊川 松原 協進 協歩 橋	石川 和夫	石川 和夫	石川 和夫	(カッコ内は今定例会において選出された委員)
改 良 事 業 促 進 協 歩 橋	石川 和夫	石川 和夫	石川 和夫	
保 險 運 営 協 歩 橋	石川 和夫	石川 和夫	石川 和夫	
道 策 特 別 委 員 会	石川 和夫	石川 和夫	石川 和夫	
特 別 委 員 会	石川 和夫	石川 和夫	石川 和夫	
区 運 営 委 員 会	石川 和夫	石川 和夫	石川 和夫	

(カッコ内は今定例会において選出された委員)

## 討 論

今定例会の二十六日、平成八年度福生市一般会計決算認定を初めとする四議案に対して、賛成、反対の討論が行われ、いずれも可決・認定されました。  
ここでは、その要旨を掲載しました。

### 平成九年度一般会計補正予算(第二号)

#### □ 反 対

地方交付税六億円余、前年度繰越金約六億円など、歳入を計上した補正予算であるが、早い段階で増額が判明し、それを財源として施策を進めることは可能であった。にもかかわらず、ほとんどが都市施設整備基金、財政調整基金への繰り戻しの措置で、財政運営のあり方を今後改めることを指摘し、反対する。

### 平成八年度一般会計決算認定

#### □ 賛 成

依存財源が六・五%ふえているが、市税徴収は頑張っている姿勢がうかがえる。  
歳出ではリサイクルセンターの一部稼働で、資源の有効利用を図る補助金制度が導入され、リサイクルの流れが強まった。保健所跡地の利用で福祉の現場の前進、また、重度障害者対策も一歩前進し、武蔵野台児童館・図書分館でのビデオの貸し出しなど各所で

努力があり、新年度予算への期待をし、賛成する。

#### □ 賛 成

五十%を割った自主財源は二十七市中最下位で、財政状況の厳しさがうかがえる。基金は百二十六億円、起債は二百六億円で、財政基盤の脆弱が見られ、財政の基盤づくりが必要である。  
歳出では第二市営住宅建設、リサイクルセンター建設等を手がけ、福祉の充実が図られ、行政水準アップは評価し賛成する。

#### □ 反 対

基地の返還問題や軍人軍属の軽自動車税等、財政に与える影響などに傍観的である。また積立金は歪んだ市政をあらわし、高齢者施策等他市に比べ、まだおこなわれている。中学校での業者弁当販売を強行し、パート問題、弁当販売数から見た失敗も認めていない。今後市民要求に積極的に取り組み、行革と称し市民に負担を押しつけないよう強く述べ、反対する。

### 平成八年度福生市国民健康保険特別会計決算認定

#### □ 賛 成

医療保険制度は相互扶助に基き確立されており、医療が共通であればそれを賄う保険税も相応の負担が必要である。医療費の伸び七・九%に対し、税率改正による三・七%の保険税の伸びは理解が得られる範囲と認識する。制度に沿った適正な決算であるが、国等に補助金増額要請と徴収率の向上等適正運営を切望し賛成する。

#### □ 反 対

被保険者の無所得状況が増加する中、保険税値上げは滞納世帯の増加につながる。軽減と滞納世帯が全体の四十六%を占めることから保険税の値上げはすべきでない。国は国庫負担分を削減し、市町村に肩がわりさせ、また保険税の値上げにより被保険者に負担をたらしめている。国庫負担金増額等の働きかけを要望し反対する。

### 平成八年度福生市老人保健医療特別会計決算認定

#### □ 賛 成

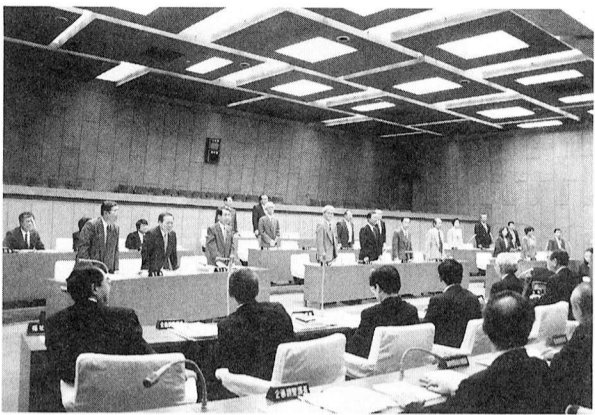
全国的に老人医療費の伸び率は対前年度九・三%(平成七年)、一方国民所得の伸びは一・八%で、これらのギャップは医療保険制度の赤字構造をつくっている。また医療費を支えている若年層の負担も限界を越えており、段階的な老人の一部負担金改正は老人保健制度存立のやむを得ない選択である。法律を遵守し、運営した本決算は的確であり、賛成する。

#### □ 反 対

国は高齢者の医療費増加を理由に外来、入院費等負担をふやす改悪を重ねている。また本決算では医療費の総額や患者、高齢者の負担金も計上されていない不自然な特別会計である。本年九月から施行された改悪の試算で、高齢者の医療費患者負担分は二・八倍となっており、高齢者を苦しめる医療費有料化に反対し、本決算認定に反対する。

## 「議 会 日 誌」

日 期	議 程
7月	3日 東京都市収益事業組合臨時議会
4日 議会運営委員会	
9日 北海道滝川市視察来市	
11日 平成8年度決算審査	
10日 第3回臨時議会	
11日 東京都市収益事業組合臨時議会(18日まで)	
13日 東京都市収益事業組合管外視察研修(14日まで)	
14日 東京都市多摩地域廃棄物広域処分組合議会視察	
15日 瑞穂斎場組合議会臨時議会	
16日 議会運営委員会(市議会だより編集会議)	
18日 基地関係要請文提出	
22日 全国市議会議長会基地協議会役員会	
28日 例月出納検査	
29日 西多摩衛生組合議会特別委員会	
30日 福島県原町方環境衛生組合議会視察来市	
31日 東京都市多摩地域廃棄物広域処分組合議会臨時議会	
8月	4日 横田基地対策特別委員会(防衛補助事業要望運動)
5日 45都市議会協議会総会(6日まで)	
7日 東京都市議会議長会定例会	
13日 西多摩地域広域行政圏協議会協議会	
15日 米空母艦載機飛行訓練中止要請	
20日 青梅、羽村、福生地区都市下水道組合議会臨時議会	
26日 全国市議会議長会基地協議会(政府予算要望実行運動)	
28日 議会運営委員会	
29日 西多摩衛生組合議会特別委員会	
3日 第3回定例会(1日目)	
4日 議会運営委員会	
5日 第3回定例会(2日目)	
9日 第3回定例会(3日目)	
10日 第3回定例会(4日目)	
11日 第3回定例会(5日目)	
16日 建設委員会	
17日 厚生委員会	
18日 総務委員会	
24日 議会運営委員会	
26日 第3回定例会(7日目)	
29日 議会運営委員会(市議会だより編集会議)	



▲平成8年度一般会計決算は本会議において起立多数で認定

高くなっている。また滞納繰越分の占める割合が福生市は九%、羽村市は五%弱で、それが最終的な収納率の差になっている。収納率が上がらないのは大口の滞納が整理できなかったり、倒産が目立っているのが一因だと判断している。今後も滞納者

今定例会に、平成八年度一般会計及び特別会計決算が提出され、一般会計決算は九月九日から十一日にわたり、本会議において審議され、また、特別会計については、建設委員会、厚生委員会において審査された結果、原案のとおり、認定されました。

ここでは、一般会計決算審議の中から、一部の質疑(要旨)を掲載しました。

# 平成8年度 決算の概要

## 一般会計決算の審議から

### 消費税の影響額は

問 本決算年度中における消費税の影響額は。

答 歳出中で支払った消費税の総額は二億二百七十七万四千円、国や東京都の補助金等の転嫁分としては九千二百九十一万二千円、相殺して一億九百二十六万二千円が影響額となる。

### 基地の固定資産税相当額は

問 国有提供施設等所在市町村助成交付金で、市民並みの固定資産税相当額との差額は。

答 資産総額に固定資産の税率百分の一・四を掛けると二十二億九千九百九十九円、基地交付金が十二億九千三百六十五万五千円、差額は九億九千七百二十四万四千円である。

### 税の徴収率向上方法は

問 徴収率は前年度と同率で二十七年中二十六位だが、一位の羽村市には独自の徴収方法があるのか。また徴収率を上げるためにいろいろ努力しているようだが、特別なことがあるのか。

答 羽村市でも特別な方法をとってはいないが、大企業が多く法人市民税等の割合が高くなっている。

### 老人ホームの入所状況は

問 現在の特別養護老人ホームの措置状況と待機者数は。

答 現在の入所者は百四十一人で、待機者は九人である。

### 街頭設置消火器の管理方法は

問 街頭設置消火器がいたずらされることがあり管理が大変だが、管理方法は。

答 消防団に委託して、春秋の火災予防期間中に点検をして市の方に報告していただき、それにより薬剤の入れ替え、格納箱の取り替え、消火器の補充等を行っている。

### 緊急通報システムの台数と利用状況は

問 緊急通報システムの台数はどのくらいあるのか。利用された方は何人ぐらいいるのか。

答 高齢者、障害者両方のシステムがあるが、平成八年度末で高齢者が二十四台、障害者は四台、あわせて二十八台で実際に八年度にシステムを利用した者はいない。平成九年度は当初予算で五台の増を計上している。

### 骨密度測定検診の応募状況と人選方法は

問 骨密度測定検診の応募状況はどうか。六十五歳の方が応募して落ちたが、人選方法は。また個人で検診を受けた場合の費用は。

答 平成八年度は受診定員を二百名、年齢を二十歳から五十九歳までと設定したが、九年度は二十歳から六十五歳三百名募集し、応募は四百四十八名あった。抽選方法は無作為抽出である。個人の場合は保険がきくので、千円ぐらいではないか。

### 小・中学校の補助教材費と修学旅行等の父母負担は

問 小・中学校の補助教材費の補助率と、修学旅行等の父母負担軽減のための負担金額は。

答 補助額は小学校が三千二百円、中学校が五千二百円で、父母負担額は小学校が二千九百八十一円、中学校が七千四百八十三円で、小学校は五・七%、中学校は四・一%の補助率である。修学旅行については小学校六千七百円で補助率は二九・一%、中学校は一万五千三百円で三三・七%の補助率。中学二年の移動教室補助額は四千円で一七・四%の補助率である。

## 図書館分館でのビデオ貸出は

問 武蔵野台図書館がオープンし、ビデオ貸出しが大変好評である。本館や他の分館でも貸し出すとか、検討しているか。また分館等からビデオのリクエストができるということだが、利用度はどうか。今後ビデオをふやす考えは。

答 ビデオテープは武蔵野

### 外国人の英語教育指導の内容と効果は

問 外国人の英語教育指導

台図書館、CD、カセットなどは他の館で実施している。今後とも充実していきたい。リクエスト件数は中央館で百四十九本、わかぎりで六十五本、わかたけで百十五本である。ビデオの今後の計画は、最終的に五千本収納できる棚等準備している。

### 外国人の英語教育指導の内容と効果は

問 外国人の英語教育指導

員は時間数が三百二十八時間で、報酬が二百二十九万六千円、時間当たり七千円になるが、一中から三中までの一年から三年までが対象となっていると思うがその内容と効果を伺いたい。

答 中学一年は七時間、三校あわせ十六クラスあり、年間百十二時間、二年も同様に十六クラス、六十四時間。それ以外にミーティングを年間四十時間で、八年度は年間三百二十八時間。成果としては

学年初めの段階では特に自己紹介等々に用いるようなケースもあり、中間段階では例文とか、母国語を話せるような形で英語指導員との調整をしている。実際に簡単な会話等にも使わせていただいている。毎年青少年海外派遣も実施しており、生きたものを成果として活用していただいている。

## 平成8年度各会計決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)
一般会計	225億5,775万8,716円	218億8,439万1,200円	6億7,336万7,516円
特別会計			
国民健康保険特別会計	31億7,068万7,949円	30億4,492万2,276円	1億2,576万5,673円
老人保健医療特別会計	25億2,454万4,222円	24億9,791万1,079円	2,663万3,143円
下水道事業会計	23億8,028万8,215円	22億9,912万4,041円	8,116万4,174円
受託水道事業会計	8億4,904万4,543円	8億4,904万4,543円	0円
総合計	314億8,232万3,645円	305億7,539万3,139円	9億 693万 506円

## 平成8年度一般会計決算の内訳

歳入		平成8年度		平成7年度		歳出	
82億5,734万8,783円(36.6%)	市税	66億3,517万6,206円(30.3%)	民生費				
29億738万5,017円(12.9%)	国庫支出金	46億8,919万1,037円(21.4%)	土木費				
26億8,562万2,250円(11.9%)	都支出金	32億5,102万9,164円(14.9%)	教育費				
24億216万3,000円(10.6%)	地方交付税	24億2,814万6,758円(11.1%)	衛生費				
23億10万円(10.2%)	市債	23億1,954万7,091円(10.6%)	総務費				
12億9,306万5,000円(5.7%)	基地交付金	9億8,142万3,280円(4.5%)	消防費				
5億7,824万3,165円(2.6%)	繰越金	7億3,613万959円(3.4%)	公債費				
3億7,876万8,000円(1.7%)	地方譲与税	3億3,706万4,365円(1.5%)	諸支出金				
3億4,290万9,300円(1.5%)	繰入金	3億2,905万322円(1.5%)	議会費				
3億4,262万1,523円(1.5%)	分担金及び負担金	1億2,096万8,581円(0.5%)	商工費				
2億4,877万167円(1.1%)	使用料及び手数料	5,592万7,573円(0.3%)	農林水産業費				
2億2,977万3,068円(1.0%)	財産収入	73万5,864円(0.0%)	労働費				
2億1,063万1,443円(0.9%)	諸収入	0%	予備費				
1億9,481万6,000円(0.9%)	自動車取得税交付金						
1億8,554万2,000円(0.9%)	その他						
	国有提供施設等所在市町村助成交付金等						
歳入合計	225億5,775万8,716円	歳出合計	218億8,439万1,200円				

# 一般質問

## (要旨)

### 市政のここが聞きたい

今定例会では、十四人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたずねました。四、七面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が掲載できません。くわしくは、会議録を図書館でご覧ください。なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認をしております。

### 災害を見すえた防災対策を

小嶋英男 議員

質問 ①当市の震災時における消防水利の現状はどうか。また飲料水はどの程度確保され、供給方法はどうか。町会配備の軽可搬式ポンプ訓練はされているのか。

もできるものと考えている。初期消火対策の軽可搬式消防ポンプは防災訓練時等に点検や訓練をしている。

②災害時に迅速、的確な情報伝達のために通信施設はどうなっているのか。

②防災行政無線の整備をしているが、難聴地域の問題が出てきているので、解消に向けて取り組んでいる。また消防団使用の緊急出動対応の移動局無線施設は古くなっているため、交換等検討をしたい。

### 斎場の早期建設を

質問 斎場は用途地域の規



▲総合防災訓練では軽可搬式ポンプ訓練も行われた (8月31日 福生第七小学校にて)

質問 ①障害のある方の社会的自立の助長、また働く場所の確保のため授産施設や共同作業所の早期開設をしてほしいがどうか。

市長 ①授産施設は障害の種類、程度、施設の規模、設置主体等多様な形態があるので、本年度実施する障害者の生活実態調査結果をもとに地域福祉計画の見直しの中で方針を出したい。

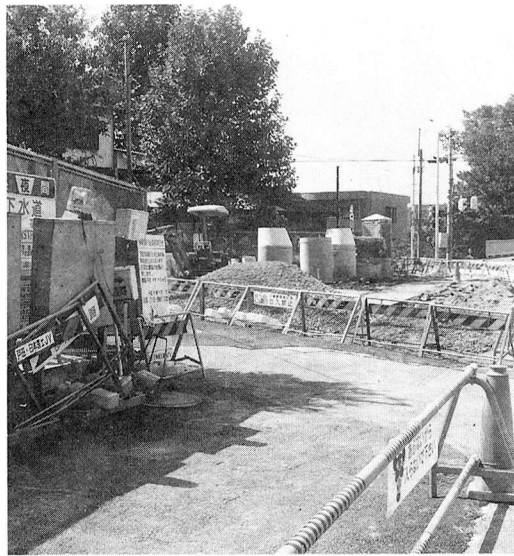


▲4月に行われた「れんげまつり」は多くの人でにぎわった

### 心身障害者に働く場所の確保を

吉沢嘉翁 議員

市長 歩車道のつけかえ等の事前の工事であるが、健康センター跡への建設も含め、実現に向けて進捗状況はどうか。



▲新橋近くで始まっている下水道雨水幹線事業の工事現場 (福生647番地先)

市長 都市長会に防災担当課長で組織された都市町村事務連絡協議会があり、ここで貯水槽の整備、毛布・食糧等の備蓄及び空き教室の備蓄倉庫化など市町村に財政援助の要望を提出している。また都予算の小中学校の避難所機能強化費一億六千万円は井戸の整備、ろ水器の配備、救急箱の配備で、配備希望の市町村への補助であり、当市も十年程度から要望したい。

### 多摩川上流域下水道雨水幹線事業の経過と地元対策は

林田 武 議員

質問 青梅・羽村・福生市の雨水幹線事業は、平成十一年末に完成するののか、またその進捗状況は。予算は開削方式がシールド方式に変わったが、工事のおくれなどで変更があるのか。工事現場付近の住民、商店等にはメリットの無い工事への対応が行われているのか。

### 学校施設を災害時の避難場所に活用を

小嶋英男 議員

質問 市は都の災害対策部への十年予算要望で市内小中学校をミニ防災拠点施設に指定するため空き教室の備蓄倉庫化への改良補助金交付対象として認めていたが、経緯と状況はどうか。また都は避難所機能の強化費を予算化しているが、その内容は。

### 一般質問項目

(質問順)

- 防災対策について
  - ①震災時と水利対策について
  - ②通信対策について
- 全国高校女子硬式野球大会の開催について
- 斎場の建設計画について
- 多摩川上流域下水道雨水幹線について
  - その後の経過と地元対策について
  - 観光協会について
  - 姉妹都市の提携について
  - 防災問題について
  - 市内小中学校をミニ防災拠点指定の働きかけについて
- 福祉行政について
  - ①心身障害者授産施設について
  - ②心身障害者デイサービスとれんげ園との関係について
  - 行政改革について
  - 行政組織の再編成について
  - ②住民票等の自動交付機設置について
  - 教育行政について
  - ①体育推進委員制度の設置について
  - ②生涯学習について
- 交通安全対策について
  - ①福東地域の国道16号と五日市街道の合流する付近の交通の実態調査実施について
  - ②「歩道橋」の設置について
  - 防犯対策について
    - ①地域の防犯安全対策について
    - ②児童生徒の登下校の安全対策について
    - ③拝島駅近辺に交番設置について
- 福祉行政について
  - ①児童福祉法の改正に伴う保育所及び学童保育所の今後の対応について
  - ②重度障害者の対応について
  - ③精神障害者施設の対応について
  - 通学路の安全対策について
  - 市内の通学路は交通安全上、防犯上を含め安全か
- 交通安全対策について
  - ①福東地域の国道16号と五日市街道の合流する付近の交通の実態調査実施について
  - ②「歩道橋」の設置について
- 防犯対策について
  - ①地域の防犯安全対策について
  - ②児童生徒の登下校の安全対策について
  - ③拝島駅近辺に交番設置について

### 市民に見える 行財政改革を

質問 行革について、①行政組織の見直しの年に当たり何を主眼に検討しているのかその進捗状況は。②窓口サービスの上に住民票等の証明書自動交付機導入は検討しているのか。

市長 ①助役を委員長に組織

### 横田基地の全日空機飛来

#### 市の見解は

#### 遠藤洋一 議員

質問 ①空母インディペンデンス艦載機の夜間離着陸訓練と市の対応は。②六月下旬に沖縄から米軍兵士を乗せ全日空機が飛来したが、通告はあったか。また基地使用形態が変わることへの市長の見解は。

③C-130輸送機削減のその後はどうか。④空母インディペンデンス退役後のキティホーク配備をどう考えるか。⑤騒音や不法駐車問題など基地カーニバル対策は。

市長 ①八月八日に文書通告があり、中止要請を行い、十五日に市長名・議長名等連

織検討委員会で組織・定数等の見直し作業を進めており、平成十年四月にスタートしたい。主眼は少子高齢化、地方分権の流れ、公的介護保険制度への対応等を考慮し、行政事務の効率化、簡素化に見合う組織の再編を図ることである。②関連部課による検討会を設け住民票、印鑑証明書等の証明書も交付できるように研究したい。

市長 ①助役を委員長に組織



▲米軍兵士を乗せ、横田基地に飛来した全日空機

### れんげ園・ひまわり 共同作業所の施設拡充を

質問 ①れんげ園は手狭なので、デイサービスとあわせ新施設による拡充強化を考へてはどうか。②ひまわり共同作業所は狭い

市長 ①デイサービスの利用を御理解いただき、社協とも協議し、福祉センターの活用も含めて検討したい。

### 重度障害者施策など

#### 福祉行政について

#### 石川和夫 議員

質問 ①法の改正による保育所の情報提供とその方法は。また国・都からの財政負担は。②重度障害者施設、緊急一時保護施設の確保ができないか。他自治体と共同してベッド確保の考へその後はどうか。また福生学園の五カ月間の緊急一時保護の利用状況は。③手狭で老朽化のひまわり作業所を何とかできないか。

市長 ①保育時間、定員等を、また保育園では保育方針、一日のスケジュール等の情報を公開することになる。国・都の費用負担は従来どおりである。②近隣自治体と共同で医療的介護が可能な障害者施設等のベッド確保に努めたい。また福生学園の利用状況は延べ十二名、延べ日数は八十一日である。③保健センター内敷地の一部提供の検討を始めており、施設内容、契約協定等ひまわり作業所と煮詰めて行きたい。



▲せまい場所でのクッキー作り(ひまわり共同作業所にて)

### 通学路は交通上、 防犯上、安全か

質問 抜け道として車が通学路を通るが、どう考へてい

市長 通学路の安全確保は、校長会でも危険箇所、注意場所等の確認、児童・生徒

### 交差点の交通実態調査と 歩道橋の設置を

#### 沼崎満子 議員

質問 熊川一四九一番地付近の国道十六号と五日市街道の交差点は、付近に集合住宅が

市長 ①実態を認識して改善策を立てていただくよう、国、東京都に要望したい。②横断歩道橋付近のカラー化や信号機の適正配置、登下校時における警察官の交通指導などの実施を関係機関に働きかけたい。



▲交通量の激しい国道16号と五日市街道交差点(熊川1411番地先)

### 登下校の防犯、安全 対策と交番の設置を

質問 ①安全で住みよい地域社会を目指しての地域の防犯安全対策は。②児童・生徒の登下校の安全対策は。③押島駅北口付近に交番の

市長 ①年々犯罪が凶悪化

への指導等徹底を図るよう指導し、警察署にも取り締まりを要請している。また、外出等の基本的な生活習慣の指導、危

市長 ①安全で住みよい地域社会を目指しての地域の防犯安全対策は。

市長 ③現在の福生警察署管内の福生市には交番三カ所、駐在所四カ所の計七カ所であるが、押島駅北口周辺の交番設置も含めて増設を福生警察署等に要望したい。

小野沢久 議員 ①防災協定を結んだ都市との交流について 職員の派遣など具体的に取り組んだらどうか

市長 ①市民の窓口業務へのICカード活用について

市長 ①小中学校のいじめ、不登校問題についての現状と対応策について

市長 ①中央体育館に暖冷房を設置できないか

市長 ①福生市の工業施策の現状と目標

市長 ①市民サービスについて

市長 ①保健対策について

市長 ①高齢化対策について

市長 ①児童・生徒の登下校の安全対策は。

市長 ③現在の福生警察署管内の福生市には交番三カ所、駐在所四カ所の計七カ所であるが、押島駅北口周辺の交番設置も含めて増設を福生警察署等に要望したい。

市長 ①安全で住みよい地域社会を目指しての地域の防犯安全対策は。

市長 ②児童・生徒の登下校の安全対策は。

市長 ③押島駅北口付近に交番の設置を。

市長 ①年々犯罪が凶悪化

市長 ①安全で住みよい地域社会を目指しての地域の防犯安全対策は。

市長 ②児童・生徒の登下校の安全対策は。

より高度な設備及び利用者の拡大について、どのような対策をしているか

市長 ①市民の窓口業務へのICカード活用について

市長 ①小中学校のいじめ、不登校問題についての現状と対応策について

市長 ①中央体育館に暖冷房を設置できないか

市長 ①福生市の工業施策の現状と目標

市長 ①市民サービスについて

市長 ①保健対策について

市長 ①高齢化対策について

市長 ①児童・生徒の登下校の安全対策は。

市長 ③現在の福生警察署管内の福生市には交番三カ所、駐在所四カ所の計七カ所であるが、押島駅北口周辺の交番設置も含めて増設を福生警察署等に要望したい。

市長 ①安全で住みよい地域社会を目指しての地域の防犯安全対策は。

市長 ②児童・生徒の登下校の安全対策は。

市長 ③押島駅北口付近に交番の設置を。

市長 ①年々犯罪が凶悪化

市長 ①安全で住みよい地域社会を目指しての地域の防犯安全対策は。

市長 ②児童・生徒の登下校の安全対策は。

### 中央体育館に

### 暖冷房の設置を

小野沢 久 議員

**質問** ①中央体育館の利用者から夏の暑さと冬の寒さは健康に好ましくないとの話があるが、暖冷房の設置ができないか。  
②各学校体育館の暖冷房の利用基準を伺いたい。

**教育長** ①中央体育館の運動場すべてに冷暖房を設置することは困難であるので、二階休憩所に暑さ、寒さをしのぐための設備を整備し、利用者には健康を阻害しないよう適切なアドバイスをしたい。  
②明文化した使用基準はなく、各校長の判断で使用するが、体育の授業、クラブ活動、部活動には使用しないことになっている。市内全校の冷暖房化の完了に伴い、校舎も含めた使用基準を検討したい。



▲利用者の健康のため冷暖房設備が望まれる

### 小型焼却炉の ダイオキシンは 安全か

**質問** ①廃棄物処理法の改正により焼却炉の規制対象が拡大されたが、学校に設置されている小型焼却炉は対象外で心配されるがどうか。  
②補助金を出して市民に勧められている焼却炉の安全性はどうか。

**教育長** ①東京都教育委員会等から通知で分別収集の徹底、資源ごみのリサイクル、校内焼却処理の抑制、廃止に努め、焼却は適正な焼却炉で完全燃焼に努める等の指導があった。本通知の趣旨を踏まえ、より一層のごみ減量を図り、焼却炉使用の抑制、廃止については今後検討したい。  
**市長** ②ダイオキシンの人体に及ぼす有害度については

明らかでないが、当面はビニール類などの塩素含有物質の焼却を避けるよう広報等で指導しながら対応したい。

### 工業施策の現状と目標。

### 工業用地の確保は

鈴木暉一郎 議員

**質問** ①バブル期の後遺症等により、市内の工業従業者も厳しい環境のもとで奮闘していると思うが、当市の工業施策の現状と目標及び工業系事業所数を伺いたい。  
②工業適地を確保するには、長期的な土地利用計画の確立による永続的な工業適地としての整合性の確保が望まれるが、現在の工業用地、準工業用地の面積と割合を伺いたい。

**市長** ①当市の工業は生業から発展した地域分散型の小規模企業で、工業適地にも恵まれなかったことから、経営環境は必ずしも住環境と調和しているとは言いが、地域に密着した産業として重要な役割を果たしていると思っております。今後は施設、設備の近代化、合理化を進めながら

都市近郊型工業の育成に努め、商工が一体となり、地域環境や地域社会全体の調和のとれた産業の振興を図ることが望ましいと考えています。  
②当市は行政面積が狭小で、またまとった用地の確保は難しい現状であるが、今後は工業用地確保としての望ましい方法について、商工会とも十分連携をとりたい。  
**市民部長** 市内の工業関係の事業所数は百九十九事業所、そのうち武蔵野台地区には三十一事業所、全体の十五・六％である。また工業地域が十二・三ヘクタール、準工業地域が四十六・一ヘクタール、合計五十八・四ヘクタールで市域全体の約八・九％を占めている。



▲武蔵野台地区の工業地域（武蔵野台1丁目26番地先）

### 公平な市民サービスの提供を

### どう考えるか

大野悦子 議員

**質問** 市民は市役所を初め多くの出先機関で、さまざまなサービスを受けるが、だれに対しても行き届いたサービスを提供すべきであるが、一つの窓口での対応がすべてのイメージをつくってしまい、その都度の印象が、自分の身の回り、ひいてはまちの中を見る視点までかえられていくと言っても過言ではないと思う。気持ちのよい信頼できるサービスを心から願う市民として、行き届いた公平な市民サービスの提供について市長の考えを伺いたい。

**市長** 職員は市民全体の奉仕者としての責務を担っていることの自覚を持ち、日ごろの職務を遂行していかねればならない。政策の内容、考え方を説明でき、行政サービスの提供に努めたい。

ビスの向上や行政運営の安定性に配慮しながら市民の信頼を確保し得る公正、公平さをもち、業務の遂行のため課題解決能力を高め、職員としての資質を磨いていくことが求められている。  
「窓口は役所の顔」と言われているが、これは職員一人一人が「窓口」であり、「役所の顔」である。行政と市民の間の親近感、信頼感を培うのは職員と市民の接し方であり、そのための接遇研修や民間派遣研修、東京都市町村職員研修所に派遣するなどの研修を踏まえ、職場での実務を通して公務員としての対応を身につけ、公平な市民サービスに努めている。今後とも接遇研修の充実を図り、サービスの提供に努めたい。



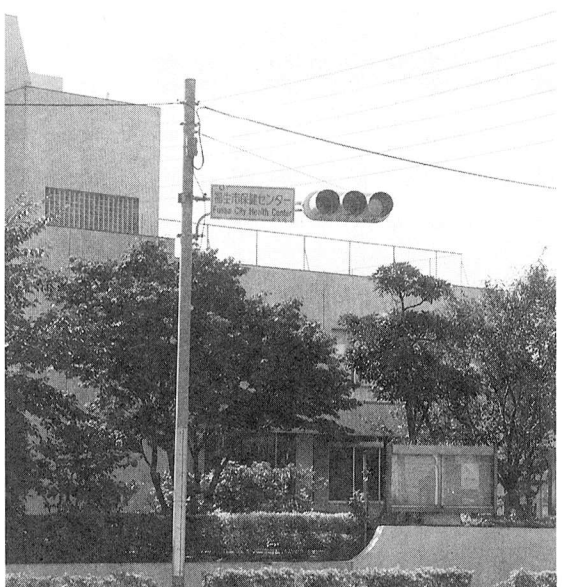
▲市役所本庁舎の市民課窓口

### 統合された後の保健業務は どのように行われているのか

今林昌茂 議員

**質問** 難病の方の保健事務の多摩川保健所まで行かなければならないが、市内の保健

用状況と今後の考えについて  
**久保田数枝 議員**  
○保健事業について  
ポリオワクチン抗体保有率の低い昭和50年から52年生まれの年齢の対応について  
○子育て支援のためにファミリーサポートセンターの導入を



▲業務が待たれる福生市保健センター

センターが健康センターでできないか、いづろからできるようになるか。難病に指定されている人の種類別の人数を伺いたい。  
**市長** 都は統廃合によるサービスの低下を招かないよう、難病相談や栄養相談は保健センターで同様に行い、四月からは難病の方の新規申請はこの保健所でも申請でき、交

### 宇宙科学館の その後の進捗状況は

**質問** 宇宙科学館建設のそ

の後の進捗状況と、類似施設としての田無市の多摩六都科学館の状況、また他市に同様の施設はあるのか伺いたい。  
**市長** 五月に早期建設の要望を都知事を始め関係者に行

い、今後も建設に向けての要請を続けたい。

**企画財政部長** 小平、東村山、田無、保谷、東久留米の六市の一部事務組合として平成六年に開館されたもので、総事業費約百二十億円で、展

### まちおこし事業の可能性と人材育成について

山下 進 議員

**質問** ①当市は個性がなく、商業の都市別売上高でも落ち込みの激しいまちと言われ、衰弱していると言え、活性化の成功には人材の育成が重要だと思いが、将来に向けての考えを伺いたい。

②まちおこし事業の可能性について伺いたい。

**市長** ①まちづくりのリーダー養成の必要性は認識しているが、まだその取り組みま

示棟、プラネタリウム棟、管理棟から構成され、テーマにそった展示やプラネタリウム番組の放映がされている。プラネタリウムは青梅市、羽村市、八王子市、府中市にある。

で至っていない。今後はまちづくり懇話会などの組織がイベントを開催できるまで成長できればと思うが、当面は市民や団体の自主的、主体的活動が活発に展開されるよう奨励、援助をしていきたい。

②地域でのイベント等を通じて共同意識を盛り上げながらの段階的な取り組みが必要ではないかと考えている。

雇用制度や教育内容の違いがあり、今すぐの導入が可能とは思っていない。

### シルバーパスの存続など 高齢者福祉行政の充実を

原 敏子 議員

**質問** 「敬老の日」を迎え、次の点を聞きたい。

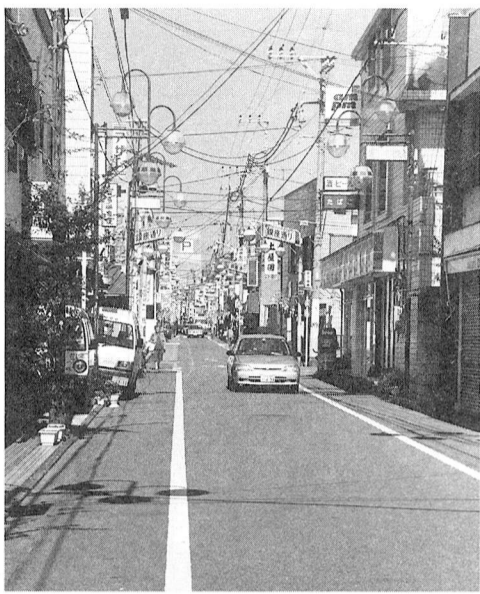
①都の計画ではシルバーパス有料化があるが、どう思うか。②老人福祉手当増額や支給要件緩和ができないか。③ホームヘルパーの人員が計画どおりに進まないのか。④養成講座を夜間も実施してはどうか。⑤家事援助サービスの現状とホームヘルパー派遣制度との違い、今後の考え方は。⑥週二回配食を毎日型給食へ、いつ図られるのか。

**市長** ①今後の動向に着目しつつ、場合によっては都に要請等したい。②介護費用の

②学校選択の機会の拡大とあわせたい形で今後も慎重に取り組みたい。

助成制度も実施しており、都の制度と同様に実施したい。

③ヘルパー資格者不足等により苦慮しているが、引き続き確保に努めたい。夜間養成講習は講師や実習先など難しい問題があり、社協と協議したい。④家事援助サービスは協力会員により社協で実施されている。ホームヘルプサービスとは目的やサービス内容が違いますが、充実を図り、連携、協力が必要と思う。⑤食事サービスの調理や配食の方法を、介護保険制度の保険給付との関連を含め検討したい。



▲望まれる活力あふれるまちづくり(銀座通りにて)

### 教育の改善、学区の見直しなどの教育問題について

**質問** ①不登校児増加への取り組みは。また子供たちの個性、希望にあったさまざまな教育の導入はどうか。チャータースクールの例等への見解

を伺いたい。

②学区の見直しについての論議とその経過を伺いたい。**教育長** ①登校拒否やいじめについてはさまざまな努力をしている。また教員の指導力や資質への疑問や苦情について、改善への努力を図りたい。またチャータースクールは学校選択の自由化などの点で一定の評価はするが、教員



▲今年も多くの人でにぎわった敬老大会(9月13日 市民会館にて)

### 改善された医療保険法 市長の見解は

**質問** 医療保険法改善による医療費増の市長の見解と患者の負担額は。**市長** 薬剤費や入院費の一部負担を高年齢者がしているも

の、老人医療費も増え続けているので、相応の負担を理

解していただきたい。**市民部長** 法改正による負担額は国保会計では約三千二百万円、一人当たり、一カ月分二百七十円程度。老健会計では約六千二百万円、一人当たり、二千八百円程度である。

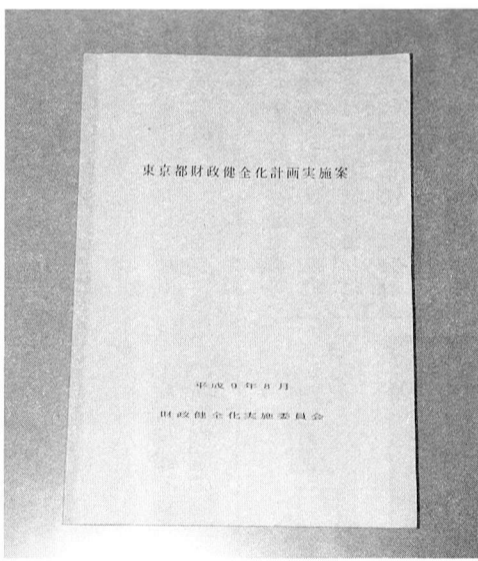
### 「都財政健全化計画」の市財政への影響は

松山 清 議員

**質問** 都はシルバーパスを初めとする施策を後退させた「財政健全化計画実施案」を発表したが、市町村にも大きな影響を与えると思う。現時点での市財政への影響と今後の対応について伺いたい。

**市長** 市町村社会福祉協議会運営費補助、定期予防接種補助、学童クラブ運営費補助、市町村土木補助等の補助金の見直し等の方策が出されてい

る。金額、削減率等は示されず、影響額は不明である。補助金の削減や廃止等については、従来から必要の都度、市に關係がある事業については直接都へ、また二十七市の共通事項は都市長会、関係部課長会議等を通じて復活や存続の必要性を訴え、東京都へ要請している。今後についても、東京都へ要請してまいりたい。



▲施策の見直し等の計画で市財政への影響も考えられる(東京都財政健全化計画実施案冊子)

### 業者弁当販売、利用状況と今後の考え方は

**質問** 中学校で業者弁当の販売開始をしてから一年たったが、この間の実績とそれを踏まえた今後の進め方について伺いたい。

**教育長** 一年間の利用状況は三校の合計注文数が二千六

百一十個、一日当たり平均二十個程度となっており、毎日利用している生徒もいるが、注文数は少ない状況にある。注文数が少ない原因として弁当の注文方法、単品メニューであることが考えられる。今後は食べたい弁当を選択できるようにメニューの複数化を考えており、業者においてメニューを検討しているところなので、御理解いただきたい。

### 子育て支援のファミリーサポートセンターの導入を

久保田 数枝 議員

**質問** 女性が仕事をしながらの育児は困難であり、その

環境の整備は急務である。また少子化が進む中、出産や育

児に不安を抱いており、子育て支援の充実が求められている。そういう中で育児の援助を受けたい人と育児の援助をできる人が会員になり相互援助を行う組織、ファミリーサポートセンターが実施されてきている。公的保育のすき間

を担う子育て支援策の導入の考え方を伺いたい。**市長** 当市の「女性行動計画」の中で将来の課題として、本年羽村市は社会福祉協議会が始めているので、実態等を参考にしながら、当市に見合う状況を模索したい。



▲望まれる子育てのための支援事業

### ポリオ抗体保有率の低い人たちに啓発を

**質問** 昭和五十年から五十二年生まれ人の半数がポリオの免疫を持っていないことが国の調査でわかっている。ポリオは東南アジア、中東地域などではまだ流行が見られ、

旅行等の際、感染の危険性が出てくる。接種する医療機関や正しい知識を提供するために啓発活動が必要と思うが、市の考えは。**市長** 昭和五十年から五十二年に生まれた方はポリオ接種にもかかわらず抗体保有率が低いことが判明したので、広報等により接種の案内をしたい。

### 議会を傍聴しましょう

次の定例会は12月3日(水)からの予定です。本会議の傍聴はどなたでもできます。くわしくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎551-1511 (内線512)

# 三常任委員会の審査から

今定例会の常任委員会では、付託された議案と陳情及び継続となっていた陳情の審査が、九月十六日、十七日、十八日の三日間、建設・厚生・総務の順で行われました。ここでは、各委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

## 建設委員会

付託された補正予算関係二件、決算認定二件、道路認定一件、陳情一件の審査をしました。

◎平成九年度福生市一般会計補正予算(第二号)

所管分について、委員からの質問に、道路新設改良費一億七千万円の財源内訳は地方交付税と繰越金との説明があり原案どおり可決しました。

◎平成九年度福生市下水道事業会計補正予算(第二号)

多摩川上流流域下水道にかかわるもので、委員からの質問に対し、前年度歳出において、主に維持管理費、維持工事費等の減額によるものとの説明があり、原案どおり可決しました。

◎平成八年度福生市下水道事業会計決算認定について

委員の質問に対し、基地の大口径金への改定で一年間で約五千五百万円ほどの増額と

なった。また使用料及び手数料のマイナスは、天候等により小口の水量等が減ったものとの説明があり原案どおり認定することに決まりました。

サービスマン内容は一日一回三時間を原則、対象者の状況等により決定し、毎日ではない。また、ショートステイは、市内の特養ホームに八ベッド年間二千八百日程度を確保しているが、八年度の利用日数は約千日であった。

◎平成八年度福生市老人保健医療特別会計決算認定について

また、不燃物収集業務は、新契約金額を基準に翌年度予算に考慮するとの説明があり、全員異議なく可決されました。

◎平成九年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

委員の質問に、繰越金の増額補正は、医療費が伸びなかったことと税率改正により国の交付金等が増えた事が主な原因との説明があり、異議なく可決されました。

◎平成八年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

委員の質問に、国保の世帯割合は、三十八・八%、人口的には三十一・一%で医療費の伸びは六・三%である。八年度の滞納世帯は二千九百九十

世帯で、保険基盤繰入金金の割合は国が十五%、都が二十五%、市が六十%となっており、一般会計の繰出金は二十七市中九位、医療給付費は二十七番に低いとの説明に、起立採決したところ賛成多数で認定すべきものと決定しました。

◎平成九年度福生市一般会計補正予算(第二号)

陳情書を審査しました。付託された四議案と七件の陳情書を審査しました。



▲付託された案件を審査する厚生委員会委員(9月17日 厚生委員会にて)

## 総務委員会

委員の質問に、総医療費は約二十六億円で、対象者は月三千八百七十人、一人当たりの一部負担金は三千百十三円、受診率は百九十八%である。国保連合会からのレセプト点検で、重複請求等をチェックするとの説明に、起立採決したところ賛成多数で認定するものと決定しました。この外七件の陳情書を審査しました。

◎福生市営住宅条例の一部を改正する条例について

委員の質問に、臨時駐車場の第二、第三市営住宅の入居者に限定し応募が多ければ抽選とし、障害者の方等には配慮していく等の説明に原案どおり可決されました。

◎多摩川排水区H-19その一工事請負契約について

委員の質問に、計画の流域下水道幹線は並行するが、完成も先であり溢水対策のため先行して埋設していく。多摩川排水区四工事の全体予算は約三億三千万円であり、工事

## 陳情

各委員会で審査された陳情の結果は、次のとおりです。

### 採択

- ◆陳情第九十二号 私学助成拡充を求める意見書採択に関する陳情書
- ◆陳情第九十四号 郵政事業の国営という現行の経営形態を堅持し民営化に反対する陳情書
- ◆陳情第九十二号 私学助成拡充を求める意見書採択に関する陳情書
- ◆陳情第九十四号 郵政事業の国営という現行の経営形態を堅持し民営化に反対する陳情書

### 継続

- ◆陳情第八十九号 プラスチック製品の製造規制等を求める陳情書
- ◆陳情第八十号 乳幼児医療費助成制度における所得制限の撤廃を求める陳情書
- ◆陳情第八十三号 可燃ごみの毎日収集廃止に関する陳情書
- ◆陳情第八十七号 市内全ごみ収集所における資源回収実施を求める陳情書
- ◆陳情第八十八号 「資源の日」を不燃ごみ収集日の前日とすることを求める陳情書
- ◆陳情第八十六号 私立幼稚園保護者負担軽減補助の所得制限の廃止を求める陳情書
- ◆陳情第九十一号 成人歯科健診事業の充実を求める陳情書
- ◆陳情第九十六号 「未臨界核実験」など、あらゆる形態の核実験に反対する意見書採択に関する陳情書
- ◆陳情第九十七号 駿河建設による住宅専用マンション建設に関する陳情書
- ◆陳情第九十八号 公務員賃金の改善要求実現と人事院勧告の凍結・値切りに反対する陳情書
- ◆陳情第九十九号 アメリカの軍事行動に日本を自動的に参戦させる、「日米防衛指針IIガイドライン」見直しに反対する陳情書
- ◆陳情第九十九号 国民生活重視の財政再建を求める意見書の採択を求める陳情書
- ◆陳情第九十一号 アメリ

### 審議未了

- ◆陳情第九十号 「夫婦別姓を認める民法改正に慎重を期することを求める意見書」の提出を求める陳情書

## 特別委員会活動から

### 横田基地対策特別委員会

八月四日午前十時より開催し、防衛補助事業等について協議した後、東京防衛施設局に要請運動をいたしました。

平成十年度の事業内容としては、◎市道幹線II-9号線他I舗装補修事業◎牛二公園(仮称)新設工事◎鍋ヶ谷戸児童公園拡張工事◎消防団第一分団の消防自動車購入◎教育関係では、一小、三小、一中、三中、中央図書館等の防音機能復旧事業工事で、これらの総事

で不便をかけるが交通対策等に、原案どおり同意しました。◎平成九年度福生市一般会計補正予算(第二号) 委員の質問に、地方交付税のうち基地関係は、約二億二千万円で、基地以外では基準財政収入額で当初見積より一億五千万円ほど減で、基準財政需要額では四億六千五百万円の増である。また土地評価業務委託料は、九年度評価替えが実施され、市内五十ポイントの鑑定を委託したものである。排水処理施設維持管理委託の減額は、今回競争入札となり薬剤、水質検査は除いたもので月額約二十八万六千円の減になったとの説明に原案どおり可決されました。



▲要請書を提出する横田基地対策特別委員会委員(8月4日 東京防衛施設局にて)

## 編集後記

福生市議会は汚職事件での二名の現職議員の逮捕、起訴、辞職と、未曾有の事態になっています。

市民の信頼を回復するため、議会運営の透明性を高め、だれにでもわかりやすい議会を目指し、全議員が頑張っています。

本会議はもちろん、各委員会、全員協議会も傍聴が出来ます。市民の皆さんの傍聴がよりよい議会を実現します。市議会だよりに対する皆さまのご意見をお寄せください。

- ◆編集委員(議席順)
- 松山 清 遠藤洋一
- 須釜亮次(新任)
- 大野悦子 小野沢久
- 東田正治 林田 武